

『VIEW next』高校版・2023年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	英語・コミュニケーション英語Ⅱ
【分野・単元】	PRO-VISION English CommunicationⅡ Lesson 5(桐原書店)
【テーマ・作品】	Designed to Change the World(世界を変えるデザイン)
【設定時数】	17時間
【単元の目標】	海外貧困層を対象としたビジネスプランプレゼンテーション

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	導入・Part 1 読解・表現活動	意欲を持ってリーディング・リスニングに挑戦し、ゴールタスクを理解しようとする力	知識 技能	1) ウォームアップベアトーク 2) Part 1 読解にチャレンジ 3) New words確認 4) TEDの視聴: Paul Polakのメッセージ読み取り 5) 単元ゴールタスクの提示	本文読解とYouTube動画の視聴を組み合わせ、生徒の興味関心を引きつける			活動への取り組み状況
2~3	本文Part 2 読解・表現活動	主体的に本文を読み、理解した内容を元に表現する力	主体性 表現力	1) ウォームアップベアトーク 2) New words確認 3) Part 2 リスニング・リーディング・サマリーノート作成 4) 関連英文読解 5) ミニ・タスク①: Q-Drum(本文に登場する製品)の新デザイン提案			本文に登場する製品について、オリジナルのデザインを提案させることで課題意識を高める	活動への取り組み状況
4	本文Part 3 読解・表現活動	正確に英文を読み取り、要点をまとめる力	技能 思考力	1) ウォームアップベアトーク 2) New words確認 3) Part 3 リスニング・リーディング・サマリーノート作成 4) 関連英文読解 5) 新出熟語を活用したWrap-up talk		本文で学んだ表現を用いたリアルな状況を設定したベアトークを行う		サマリーノートのチェック
5~7	本文Part 4 読解・表現活動	聞き手の心を動かすような効果的なプレゼンテーションができる能力	技能 思考力 協働性	1) ウォームアップベアトーク 2) New words確認 3) Part 4 リーディング・サマリーノート作成 4) 関連リスニング 5) ミニ・タスク②: LifeStraw(上記リスニングに登場した製品)のセールスプロモーションに挑戦			リスニング問題で用いたスクリプトに載っている表現を活用しながら、且つ本文のコンセプトを踏まえた発表原稿を作るよう指導する(フレームや構成の提示)	活動への取り組み状況
8~10	まとめ・課題の確認	発表者: 効果的なプレゼンテーションができる力 参加者: アクティブ・リスニングの力	主体性 表現力 協働性	1)ミニ・タスク②のプレゼンテーション 2)振り返り	パフォーマンステストの評価項目を明示し、伝える意識を持ってプレゼンに臨むよう促す			パフォーマンステスト(ループリックを用いた評価)
11~13	英語スライド・原稿作成・リハーサル	スライド・原稿・デリバリー全てを意識した効果的なプレゼンテーションができる力	主体性 表現力 協働性	1)英語プレゼンテーションスキルについて学ぶ 2)探究の時間で作成したスライド・原稿を英語バージョンにする 3)声の大きさ・アイコンタクト・間の取り方など、評価項目を意識したリハーサルを行う		「グループプレゼン=1人1人が順番で話すだけではなく、チームで1つのメッセージを届ける」ということを伝え、効果的なグループプレゼンの準備をさせる		活動への取り組み状況
14~15	クラス内プレゼンテーション	発表者: 効果的なプレゼンテーションができる力 参加者: アクティブ・リスニングの力	主体性 表現力 協働性	1)各チーム7~8分でプレゼンテーションを行う 2)生徒の投票によりベストチームを選出し、表彰式を実施	発表者は伝えようという気持ちをこめて、聞く側の生徒も発表しやすい雰囲気作りにも努めるよう指導する			パフォーマンステスト(ループリックを用いた評価)
(16~17)	学年代表プレゼンテーション	発表者: 効果的なプレゼンテーションができる力 参加者: アクティブ・リスニングの力	主体性 判断力 協働性	1)各クラスより選出された代表8チームによるプレゼンテーションを行う 2)(株)日本政策金融公庫・担当者より講評 3)ベストチーム選出・表彰式			これまで学んだことを振り返り、得た知識を繋げながら、発表したり聞いたりするよう指導する	活動への取り組み状況